

中央大学 2026 年度一般選抜

【出題の意図】

試験日	2026 年 2 月 13 日
学部・試験方式	商学部 B
科目	国語

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

第一問は、現代文の論理的文章についての問題です。山本龍彦『アテンション・エコノミーのジレンマ』の一節を題材としました。従前の「アテンション・エコノミー」の概念とは異なり、フィルターバブルやエコーチェンバーと構造的につながった現代における概念規定を、文脈から正確に把握する読解力を問う問題です。また全体的構成と直近の文脈に基づき、漢字や欠落部を類推する能力を問う問題も設けました。

第二問は、現代文の論理的文章についての問題です。今回は岡野八代の文章を題材としました。近年注目されるケアの倫理というテーマについて、基本的な考え方を説明した箇所から出題しました。「被傷性」などの独特の用語に難しさがありますが、ケアの倫理が前提とする人間像について適切に理解できる読解力を問う問題としました。

第三問は、古文についての問題です。『源氏物語』を題材にした擬古物語である『別本 八重葎』を題材としました。古文の基礎的な語彙・文法の理解をふまえ、帰京した光源氏らしき一行の訪問に末摘花の姫君とその女房たちが取った行動や感情の動き、会話の内容について理解できたかを問いました。